



令和5年度の予防接種について

令和5年度の定期予防接種(年長児から)についてお知らせします。☆のついたものは対象者に予診票を送付します。

年長児▶麻しん・風しんワクチン(2期)

接種時期 小学校入学前(令和6年3月31日まで)
生年月日 平成29年4月2日～平成30年4月1日
※出生時に交付した予診票で接種してください。

★小学校4年生▶日本脳炎ワクチン(2期)

接種時期 9歳以上13歳未満で1回目
(標準接種年齢:9～10歳)
生年月日 平成25年4月2日～平成26年4月1日

★小学校6年生▶二種混合ワクチン

接種時期 11歳以上13歳未満で1回
(標準接種年齢:11～12歳)
生年月日 平成23年4月2日～平成24年4月1日

★中学校1年生女子▶子宮頸がん予防ワクチン

接種時期 小学校6年生～高校1年生
(標準接種年齢:中学校1年生)
生年月日 平成22年4月2日～平成23年4月1日

17～25歳の女子▶子宮頸がん予防ワクチン

積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方が対象です(キャッチアップ接種)。

接種時期 令和7年3月31日まで
生年月日 平成9年4月2日～平成19年4月1日
※令和4年5月に予診票を送付済みです。

★18歳▶日本脳炎ワクチン(2期)未接種者

積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方が対象です。

接種時期 18歳に到達する年度
(接種は20歳未満まで)
生年月日 平成17年4月2日～平成18年4月1日

定期予防接種に追加されました 9価の子宮頸がん予防ワクチン

令和5年4月から9価ワクチン(シルガード9)を定期予防接種として公費で受けられるようになりました。

＜すでに2価または4価ワクチンで1回でも接種を受けている方＞

基本的には同じ種類のワクチンでの接種完了が推奨されていますが、残りの回数を9価ワクチンに変更することも可能です。ワクチンの変更については、医師とよくご相談ください。

45～61歳の男性▶麻しん風しんワクチン

抗体検査の結果、抗体価がない方が対象です。
接種時期 令和7年3月31日まで
生年月日 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日
※希望される方は問合せ先までご連絡ください。

★65歳以上(※)▶成人用肺炎球菌ワクチン

接種時期 令和6年3月31日まで
対象者 次の年齢に該当する方(過去に1回でも公費・自費を問わず接種を受けている方を除く)
65歳/昭和33年4月2日～昭和34年4月1日
70歳/昭和28年4月2日～昭和29年4月1日
75歳/昭和23年4月2日～昭和24年4月1日
80歳/昭和18年4月2日～昭和19年4月1日
85歳/昭和13年4月2日～昭和14年4月1日
90歳/昭和8年4月2日～昭和9年4月1日
95歳/昭和3年4月2日～昭和4年4月1日
100歳/大正12年4月2日～大正13年4月1日
※60歳以上65歳未満で、身体障害者手帳1級(内部疾患に限る)を所持している方は、上記の年齢以外でも助成の対象となる場合があります。詳細は問合せ先までご連絡ください。

自己負担 助成額(2,000円)を超える金額

茨城県内定期予防接種広域事業により、県内の協力医療機関で接種が可能です(任意接種を除く)。協力医療機関については、『茨城県医師会ホームページ(🌐<https://www.ibaraki.med.or.jp/>)→県民の皆様へ→茨城県内定期予防接種広域事業(一般向け)』をご覧ください。



▲茨城県医師会ホームページ

45～61歳の男性へ 風しんの抗体検査はお済みですか？

昭和37年度～昭和54年度生まれの男性は、風しんの抗体検査と予防接種を無料で受けられます。風しんに妊婦さんが感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴をもって生まれてくる可能性が高くなります。

あなた自身と周りの人を守るために、風しんに対する抵抗力を確認・獲得しましょう。



問合せ 健康保険課 健康増進グループ(常北保健福祉センター内) ☎029-240-6550